2019年11月13日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 J M C
代 表 者 名 代表取締役社長兼ＣＥＯ 渡邊 大知
（コード番号：5704 東証マザーズ）
問 合 せ 先 経営企画室長 岸川 智則
（TEL. 045-477-5751）

業績予想の修正に関するお知らせ

株式会社ＪＭＣ（以下、「当社」という。）は、2019年５月14日に公表致しました2019年12月期（2019年１月１日～2019年12月31日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．2019年12月期 通期業績予想数値の修正（2019年１月１日～2019年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 3,280	百万円 426	百万円 413	百万円 273	円 銭 52.35
今回修正予想（B）	2,821	271	270	177	33.62
増減額（B－A）	△459	△155	△143	△96	
増減率（%）	△14.0%	△36.4%	△34.6%	△35.2%	
（参考）前期実績（2018年12月期）	2,582	329	338	214	41.15

２．修正の理由

第２四半期累計期間（2019年１月～2019年６月）までの当社業績は、良好な外部環境のもと順調に推移いたしましたが、第２四半期会計期間（2019年４月１日～2019年６月30日）半ばを境に、当社の主要取引先である自動車産業の業績不振等の影響が、試作・開発市場にも波及しはじめ、第３四半期会計期間（2019年７月１日～2019年９月30日）においては、試作・開発に関する受注が大幅に減少いたしました。

特に、売上高に占める自動車産業関連向けの試作・開発の比率が高い、当社の主要事業である鋳造事業の収益への影響が大きく、第３四半期会計期間の全社での収益が大幅に低下いたしました。

更には、第１四半期会計期間（2019年１月～2019年３月）から取り組んでおります、３Ｄプリンター出力事業における医療機器販売において、販売体制の構築が難航しており、全社の利益を大幅に押し下げる一因となりました。

上述の状況を勘案した結果、2019年12月通期の売上高は、2019年５月14日付の前回発表予想3,280百万円を14.0%下回る2,821百万円(前期比9.2%増)となる見込みです。これに伴い、営業利益が36.4%下回る271百万円（前期比17.8%減）、経常利益が34.6%下回る270百万円（前期比20.2%）、当期純利益が35.2%下回る177百万円（前期比17.5%減）と前回発表予想から減額修正しております。

（注）上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によってこれらの見通しと異なる可能性があります。

以上